

野菜などの害虫防除に

アグロスリン®

乳剤

広い
殺虫スペクトラム

優れた速効性

優れた残効性

適用拡大

使用時期

「ほうれんそう」が
「収穫7日前まで」に短縮

※詳細は裏面でご確認ください。



適用作物・害虫と使用方法

*印は本剤およびシベルメトリンを含む農薬の総使用回数 2022年5月現在の登録内容 (太字は2022年2月25日の適用拡大)

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期(収穫前)	総使用回数*	使用方法
きゅうり	アブラムシ類 オンシツコナジラミ	2,000	100~300ℓ/10a	前日まで	5回以内	散布
	ミナミキイロアザミウマ トマトハモグリバエ	1,000				
すいか	アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ	1,000~2,000	100~300ℓ/10a	前日まで	5回以内	散布
	アブラムシ類	2,000				
メロン	ミナミキイロアザミウマ トマトハモグリバエ	1,000	100~300ℓ/10a	前日まで	5回以内	散布
	アブラムシ類	2,000				
かぼちゃ	アブラムシ類 アザミウマ類 ハスモンヨトウ	2,000	100~300ℓ/10a	前日まで	5回以内	散布
	アブラムシ類	2,000				
べっぴんかぼちゃ(種子)	アブラムシ類	2,000	100~500ℓ/10a	7日前まで	4回以内	散布
アスパラガス	アブラムシ類	2,000	100~500ℓ/10a	前日まで	3回以内	散布
トマト	アブラムシ類 オンシツコナジラミ	2,000	100~300ℓ/10a	前日まで	5回以内	散布
	アブラムシ類	2,000				
なす	アブラムシ類 オンシツコナジラミ	2,000	100~300ℓ/10a	前日まで	5回以内	散布
	アブラムシ類	2,000				
ピーマン、いちご	アブラムシ類 シロイチモジヨトウ	2,000	100~300ℓ/10a	7日前まで	5回以内	散布
	アブラムシ類	2,000				
ねぎ	アブラムシ類 ネギコガ ネギハモグリバエ アザミウマ類	2,000	100~300ℓ/10a	7日前まで	2回以内	散布
	アブラムシ類	2,000				
わけぎ	アブラムシ類 シロイチモジヨトウ	1,000	100~300ℓ/10a	7日前まで	2回以内	散布
	アブラムシ類	2,000				
たまねぎ	アザミウマ類 シロイチモジヨトウ ネギハモグリバエ	2,000	48	2.4ℓ/10a	5回以内	無人航空機による散布
	アザミウマ類	48				
だいず	ジャガイモヒゲナガアブラムシ マメシロイソアブラムシ カメムシ類 フタスジヒメハムシ	2,000	100~300ℓ/10a	7日前まで	3回以内	散布
えだまめ	アブラムシ類 メイガ類	2,000	100~300ℓ/10a	14日前まで	5回以内	散布
	アブラムシ類	2,000				
いんげんまめ	アブラムシ類 インゲンテントウ	2,000	100~300ℓ/10a	14日前まで	5回以内	散布
	アブラムシ類	2,000				
にんじん	アブラムシ類 ヒョウタンゾウムシ類	2,000	100~300ℓ/10a	7日前まで	5回以内	散布
	アブラムシ類	2,000				
ごぼう	アブラムシ類 ヒョウタンゾウムシ類	2,000	100~300ℓ/10a	7日前まで	5回以内	散布
	アブラムシ類	2,000				
ほうれんそう	アブラムシ類 アザミウマ類	2,000	100~300ℓ/10a	7日前まで	5回以内	散布
	アブラムシ類	2,000				
チンゲンサイ	アブラムシ類 アオムシ	2,000	100~300ℓ/10a	前日まで	2回以内	散布
	アブラムシ類	2,000				
非結球あぶらな科葉菜類(チンゲンサイを除く)	アブラムシ類	2,000	100~300ℓ/10a	前日まで	2回以内	散布
	アブラムシ類	2,000				
にら	ネギアザミウマ ヨトウムシ類 ネギコガ ハモグリバエ類 クロハネキノコバエ類	2,000	100~300ℓ/10a	7日前まで	3回以内	散布
	アブラムシ類	2,000				

上手な使い方

害虫の発生初期をねらいます。

優れた残効性を活かして、害虫の発生初期や害虫の密度が高まる前の、従来よりやや早いタイミングで散布してください。

数種の害虫の併殺をねらいます。

広い殺虫スペクトラムを活かして、同時に発生する複数種の害虫の併殺をねらいます。

ていねいに散布します。

害虫は薬剤のかかりにくい葉裏にも生息します。散布に当たっては、かけ残りのないようていねいに行ってください。

他剤とのローテーション散布を行います。

感受性低下害虫の出現を防ぐため、ピレスロイド系薬剤の連続使用は避け、他系統殺虫剤を組み入れたローテーション散布を心がけてください。

使用上の注意事項(抜粋)



- 使用量に合わせ薬液を調整し、使いきってください。
- ボルドー液と混用する場合は使用前に混合してください。
- ねぎのシロイチモジヨトウに散布する場合は、食入前の若齢幼虫期に散布してください。
- かんきつでの散布は、場合によりハダニ類が増えることがあるので注意してください。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は次の注意を守ってください。①散布は各散布機種に適合した散布装置を使用してください。②散布中薬液が漏れないように機体の散布用配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
- 畜に長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、糞に付着するおそれのある場所では使用しないでください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意して

- ください。①ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないでください。②受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。③関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 本剤で処理したえんばくの種子は食用及び飼料用には用いないでください。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを

- 誤らぬよう注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 原液は眼に対して強い刺激性があるので、散布液調整時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には、直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので、皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすしてください。
- 散布の際は防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用してください。散布液を吸い込んだり、浴びたりしないよう注意し、作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 本剤はのど、鼻、皮膚などを刺激する場合、またかゆみを生じる場合があるので注意してください。

- 水産動植物(魚類)に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼及び、海域等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 養殖池周辺での使用はさけてください。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

